

大阪府追加補正予算案

生徒への「図書カード」配布に20億円!!

-今必要なのは困窮世帯への減免、学校現場への支援-

すでに報道されているように、大阪府は、学校の臨時休業期間中における子供たちへの支援として、府内の学校園に在籍する幼児児童生徒へ「図書カード」を配布するとしています。予算は約100万人を対象に、総額20億円。大阪府の緊急の補正予算案として、議会の議決を経ないで、吉村知事が専決処分する方針です。

学校の臨時休業期間中における子どもたちへの支援

目的 新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業が長期間に及ぶことから、幼児児童生徒への学習支援及び心身の健康を保つための支援を行う

支援策(案)

1. 家庭学習支援事業費《新規》 20億円

<学びの保障> 臨時休業期間中の学習用教材等の購入費補助として図書カード(2,000円分)を配布※各学校園ごとに事業者からQRコードを送信 ※オンライン購入・配送可能

【対象】 大阪府内の公立学校園及び私立学校園(※)に在籍する幼児児童生徒

※幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等課程を置く専修学校及び各種学校のうち外国人学校

【対象者数】 約100万人

【積算】 @2,000円×100万人=2,000百万円

2. SNS活用相談体制調査研究事業費《拡充》 2百万円

<心のケア> 学校の休業期間中に様々な不安や悩みを持つ子どもへの支援を図るため、既存のLINE相談を拡充する。現状、毎週月曜日のみ実施 ⇒ 5月6日までの平日すべて

【対象】 大阪府内の小・中・高・支援学校に通学する生徒※私立含む、大阪市立・堺市立学校除く

【対象者数】 約67万人

府教委は、府高教に対し「図書カードはQRコードを学校に送信する」「5月6日までに何らかの方法(課題送付や家庭訪問の際など)で配布していただきたい」と説明しています。

府は、いま必要な予算をすみやかに配当し保障せよ

今、必要なのは、「緊急事態宣言下」で生活困窮する子どもの生活保障や、そのために生徒支援・教育活動を行う学校への財政的な保障です。図書カードのための20億円で、生活困窮世帯の授業料減免など、出来ることがもっとあるはずです。この間職場からは「休業中の生徒への課題の発送をしたが、予算が限られている。何とか1回発送したが、2回目は難しい」という声も届いています。感染拡大予防の観点から「在宅勤務」が導入された中で、新たな業務として、危険をおかして出勤をすることにつながりかねません。府高教は、引き続き、職場の要求を集約し、府教委に対し、申し入れ、折衝を強めていきます。

みんなの力で要求実現! あなたも府高教へ!